



ご近所の外国人との共生を考える

道自治研総会

小樽民商も参加する、北海道地域・自治体問題研究所の総会が六月六日（土）札幌市内で開かれま

した。活動報告・決算予算の採択等総会議事の後、総会企画として「外国人とともに暮らす未来を展望する」と題した講演とシンポジウムが開かれ、青年海外協力隊で外国人への日本語教育を行ってきた



経験から、道内での在留外国人の現状やコミュニケーションについて研究されている平田未季北大教授、ドイツ人神父と出会い、留学生へのボランティア活動から国籍や文化、宗教を超えて外国人との交流を進めている、カトリック札幌司教区の西千津さん、建設会社の総務部長として、外国人の採用のため

に現地に赴き、現地の希望者に一か月かけて日本語や文化、建設現場の知識、実技を講習してから日本で就業してもらおうと、積極的に取り組んでいる関口鞠乃さんの三方が話されました。



労働者本人が家族を呼び寄せて日本で生活を始める事例が増えることが予想され、言語や仕事に関する技能はもちろん、自治体は町内会等外国人を交えたコミュニケーションづくりが急がれていることを知った。日本で働きに来てくれる外国人は日本が好きで日本で働きたくて来ている人ばかり。これからはこちらから積極的に理解を深めていくことが大切なのだと言った。

小樽ではまだいないが、いつか外国人の会員が入会するだろうという夜の話。老人保健施設で働く私の妻の職場では今、はじめて外国人労働者を受け入れるために、資料の整理や平仮名で書かれたシールを貼るなど準備を加速させていると聞いた。九月から介護分野で働く人が来るという。人手不足解消のために国籍を超えて気持ちよくともに働く、受け入れ側の体制づくりが身近なところで進んでいると聞いて、心底驚いた。（中田）

道南4民商交流会

とき 10月24日(土) ~ 25日(日)
ところ 滝川市内



ホルムス封鎖影響調査にご協力ください！